

# 公立高校入試情報 広島県

## 【数学】

### 令和3年度広島県入試の全体傾向

- 大問数は6問、小問数は昨年から1問増え19問でほぼ例年どおり。
- 大問1は各領域の基本問題、大問2は標準問題が中心の小問集合、大問3は三角形の面積比、大問4は反比例と直角三角形、大問5は資料の活用、大問6は平面図形の総合問題が出題。
- 昨年から引き続き大問6問の構成で、分量、出題内容や難易度は例年通り。
- 大問5は動画の再生回数を題材とし、実生活への活用力をみる問題、大問6は作図についての学習場面で、どちらも問題文が会話形式で長い。設問文から正しく情報を読みとる力が必要。

#### ■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

#### ■ 実生活への活用力をみる問題の出題

・身近な題材について、方程式・関数・図形などの知識を使って考える問題がよく出題されているので、数学的に考える力を養っておく必要がある。

### ★広島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●	
		文字と式					
		方程式	●		●		
		比例と反比例	●	●	●	●	
		平面図形	●			●	
		空間図形	●	●	●	●	
		資料の活用	●	●	●	●	
	2年内容	式の計算	●	●	●	●	
		連立方程式		●			
		1次関数	●	●		●	
		図形の調べ方		●		●	
		三角形			●	●	
		平行四辺形	●	●		●	
		確率	●	●	●	●	
	データの比較と箱ひげ図	/	/	/	/		
	3年内容	式の計算		●	●	●	
		平方根	●	●	●	●	
		2次方程式		●	●	●	
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●	
		相似な図形	●	●		●	
		円の性質	●	●		●	
三平方の定理		●	●	●	●		
標本調査			●				
出題形式別の傾向	大問数		6	6	6	6	
	小問数		20	21	18	19	
	記述問題	図形の証明(説明)		1	1	1	1
		その他の説明・証明など		2		2	2
		立式・解法の過程の記述			2	1	
		作図(図形)					
作図(グラフ)		1					